

Doctor's Data 社 Comprehensive Blood Elements Profile  
有害必須ミネラル検査(全血と血清)  
検体作成手順

*始めに:*

この検体作成手順をよく読み、手順をよく把握してください。

この検査は特別な食事を必要としませんが、前日の夕食を控え、朝食を食べる前に血液の採取を行う事をお勧めします。それ以外の時間に検体を作成すると患者の検査結果に差異が生じることがあります。医者の指導がない限りにおいて、検体作成前の 72 時間は必要のない薬剤やミネラルを含むサプリメントの摂取を控えてください。医者の指導を受けることなく製剤の投与を中止する事はしないで下さい。

*採血に当たる看護師の方々へ:*

微量元素が混入しない提供されたチューブを使用して下さい。その他のチューブを使用すると間違った高い結果が出るかも知れません。幾つかのチューブで採血する時は、微量元素フリーのチューブを最後に使用して下さい。溶血血清は分析に適切ではありません。

*検査キットの中身:*

ひとつ目の透明なジップロックバッグに含まれる物:

赤いキャップの血清チューブ .....	1 本
ピペット .....	1 個
血清を移し替える 8mL トランスファーチューブ .....	1 本 (透明のプラスチックチューブの中に入っています)
トランスファーチューブを保護する透明のプラスチックチューブ .....	1 本
吸収性パッド .....	1 枚

ふたつ目の透明なジップロックバッグに含まれる物:

青いキャップのEDTAカリウムの微量元素フリーのチューブ .....	1 本 (透明のプラスチックチューブの中に入っています)
青いキャップのチューブを保護する透明のプラスチックチューブ .....	1 本
吸収性パッド .....	1 枚

保冷剤 .....	1 個
検査申込書 .....	1 枚
検体作成手順(本用紙) .....	1 部

その他、キットと別に(検体の発送にかかわるもの)

FedEx 送り状(Air Waybill) ..... 1 枚

インボイス(CUSTOMS INVOICE) ..... 3 枚

FedEx 検体発送方法 ..... 1 枚

FedEx UN3373 Pak..... 1 枚(検体発送時のビニール製封筒です)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス(Detox Co., Ltd.)

Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

検査キットの外箱を保管し、検体はこの外箱に入れてラボまで発送下さい。

尚、検査キットには使用期限がございます(検査キット箱側面、検査名下に記載)。

使用期限内にラボにて分析可能となりますようお願いください。また期限を過ぎました検査キットはお使いいただきませんよう、お願いいたします。

**検体作成手順(朝食をとらずに検体を作成することをお勧めします):**

- 1) 血液の採血: 血液を赤いキャップの血清チューブと青いキャップのEDTAカリウムの微量元素フリーのチューブに摂取します。微量元素フリーのチューブを最後に採血する事をお勧めします。青色のチューブを逆さにして 10 回ほどよく混ぜます。
- 2) 赤いキャップのチューブは少なくとも 15 分間凝固させます。
- 3) 青いキャップのチューブに患者の氏名、生年月日、検体作成日を英語表記で記入して下さい。チューブに患者様の情報がない場合には検査を行えません。
- 4) 青いキャップのチューブをプラスチックの保護チューブに入れます。そのチューブをジップロックバッグに入れて封をして下さい。そして、そのバッグと中身を検体発送用検査キット外箱に入れます。血液入りチューブは室温で保管して下さい。これで全血検体の作成が完了しました。

※ 簡単にプラスチックの保護チューブのキャップを外すには、引っ張りながら前後にキャップを揺らして下さい。

血清検体の準備:

- 5) 赤いキャップのチューブを遠心分離に掛け、血餅から血清を分離して下さい。  
(DDI は 3,000rpm で約 10~15 分間の遠心分離を推奨しております)
- 6) ピペットを使用し、チューブから血清を取り出し血清を移し替える 8mL トランスファーチューブに入れます(分析には最低 2mL の血清が必要です)。残りの血餅とピペットは破棄して下さい。
- 7) 患者様の氏名、検体作成日、生年月日を、血清を入れたトランスファーチューブに記載して下さい。チューブに患者様の情報がない場合には検査を行えません。
- 8) 血清を入れたトランスファーチューブを透明なプラスチックの保護チューブに入れます。そのチューブを 4) で作成した全血検体とは別のジップロックバッグに入れ封をします。ジップロックバッグの背面にあるポケットに保冷剤を入れ、少なくとも 6 時間冷凍庫にジップロックを入れておきます。凍結後、血清検体の作成が完了となります。
- 9) 最低 6 時間後、血清検体と保冷剤を入れたジップロックバッグを冷凍庫から取り出し、検体発送用検査キット外箱に入れます。これで全血検体と血清検体が揃いました。
- 10) 申込用紙右上の検体採取情報に、検体作成日、時間、患者が前夜から絶食をしたかどうか Yes または No にチェックをします。
- 11) 申込用紙に必要事項を全て記入してください。担当医の署名があることを確認してください。申込用紙に正しく記入されていないと検査はプロセスされません。申込用紙を検体発送用検査キット外箱に入れて下さい。全血検体・血清検体・検査申込書を入れた検体発送用検査キット外箱を検体発送用 FedEx UN3373 Pak に入れ封をします。これで発送の準備が出来ました。  
「FedEx 検体発送方法」をご覧ください。

正確な検査結果を提供するために、Doctor's Data 社は検体をできるだけ早く発送することを推奨します。もし検体作成日が週末や休日で検体をその日に発送できなければ、発送まで血清のバイアルを冷凍庫で保存下さい。